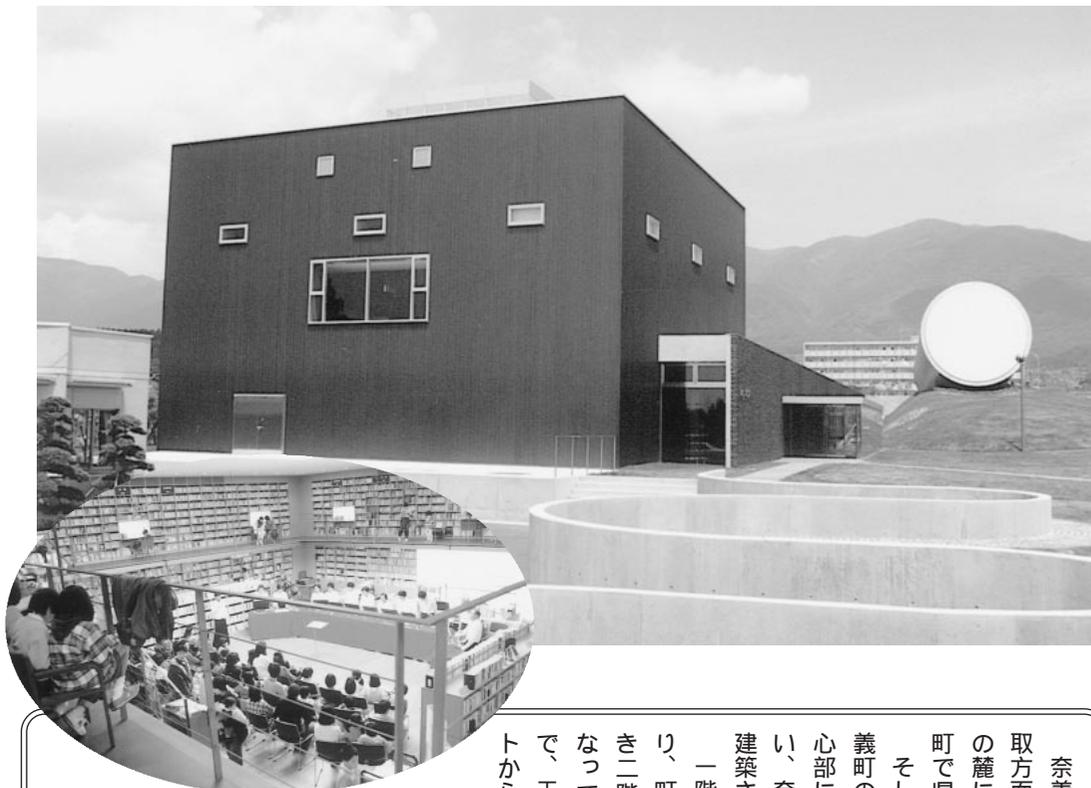


岡山県総合文化センターニュース

県内図書館めぐり Part 奈義町立図書館



奈義町は、津山から国道五十三号線を鳥取方面へ車で約三十分走った、秀峰那岐山の麓に広がる人口七千人余りの、のどかな町で県境に位置している。

そして、奈義町立図書館は、「将来、奈義町の文化的中心軸となるように」と町中心部に計画されているシンボルロードに沿い、奈義町現代美術館と一体型建物として建築され、平成六年四月にオープンした。

一階部分には二つの町民ギャラリーがあり、町民直接参加型の様々な企画に対応でき二階は五万冊収蔵可能な開架閲覧室になっており、四周全壁面が天井まで書架で、天井に大きくとったトップサイドライトからの採光システムとなっている。

活動面では、町内一カ所ある託児所へ職員が毎月一回出向き、お話をし、工作も一緒にするなど、積極的な取り組みに町民からの好評を得ている。

所在地 千七〇八 一三三三

勝田郡奈義町豊沢四四一

電話 (〇八六八)三六 五八一

蔵書冊数 約四万八千冊

貸出冊数 約五万冊

(町民一人当たり約七、一冊)



感動 未来へ おかやま

平成十年度

「現代作家の眼」展

岡山県総合文化センター
では、芸術の秋に二つの展覧会を企画しています。

一つ目は《アートウェーブ岡山・彫刻選抜》中央展で、九月三十日から十月十一日まで岡山県総合文化センター第一展示室を会場に開催します。

作品は、サブタイトルを「木・石・金属 内なるものへ」として素材を限定したもので、二十四人の作家による、コンセプトの明確な展覧会です。

県内で現在活躍中の作家の、力作を御堪能ください。

二つ目は、《アートウェーブ岡山・洋画選抜》巡回展・津山で、十一月十一日から十一月二十日まで、津山市立図書館展示ホールを会場に開催いたします。

サブタイトルを「感動 内なるものへ」とし、県内洋画界を代表する作家の秀作四十七点を一堂に集めて展示します。（これは、その後、高梁市歴史美術館にも巡回します。）

どちらも入場料は「無料」です。御来場を、お待ちしております。

おかやま人物往来 ④

小野光右衛門



小野光右衛門 画像
岡山県立博物館蔵

江戸末期に西洋から入った新しい数学に対し、以前からわが国にあった数学を和算という。戦国から江戸初期のころには、築城などの土木普請や検地、江戸時代には商品の売買、金銭の貸借、土地の測量や暦の編纂など、実用の計算に欠かせない学問として発達した。江戸時代中期以降になると、岡山県内にも和算家として知られる人々が現れるようになった。

小野光右衛門は天明五年（一七八五）浅口郡大谷村（現金光町）の庄屋の家の生まれ。父が早く死去したため十七歳で庄屋の職を継いだ。公務精勤によって名字・帯刀を許され、さらに焼失した蒔田藩役所の再建の際、家相や地相を調べ、尽力した功績によって大庄屋格、ついで大庄屋を務めた。地方行政に貢献すること五十六年に及んだという。この間、光右衛門

は子弟の教育にも努め、多くの子供たちに手習いを教えており、金光教の教祖金光大神も十三、四歳のころ光右衛門に手習いを学んだ。

一方、光右衛門は若いころから数学を好み、はじめは和算書で独習していたが、文化六年（一八〇九）二十五歳の時、大江村（現井原市）の谷東平について本格的に和算を学んだ。谷東平は大坂の麻田剛立の塾で学び、晩年郷里に帰って中山舎という塾を開いた人で、高橋至時や間重富とは麻田塾の同門といわれる。また、伊能忠敬が「谷東平と申我等天文ノ弟子」と記していることから、東平は伊能忠敬に天文を学んだようである。

文化十年（一八一三）里見川の開墾にかかわって、阿賀崎新田村（現倉敷市玉島）との間に訴訟がおきた時、村の代表として江戸へくだった光右衛門は訴訟の間をめぐって幕府天文方渋川景佑を訪ね、その高弟で暦作り御手伝いの山本文之進に天文・暦学を学んだ。次第に光右衛門の名前が知られるようになると、陰陽道の土御門家から入門の誘いを受け、嘉永三年（一八五〇）には土御門家から入門状を受けている。嘉永七年（一八五四）には和算の入門書「啓迪算法指南大成」を刊行、出版部数は一七〇〇部に及んだとい

う。

和算の発達は数学の定理や問題を描いて奉納する絵馬、算額を生んだ。はじめは、定理などを発見した時、これを神仏の加護と感謝して奉納したものが、後には自分たちが解いた難問を掲げるものも現れるようになった。現在、岡山県内でも二十余面の算額が知られ、吉備津神社（岡山市）や総社市の総社宮には小野光右衛門一門が奉納した絵馬が伝来している。

県内では、小野光右衛門、谷東平のほかにも原田元五郎、窪田浅五郎・善之、片山金弥等々の和算家が知られるが、これまでこの分野の研究、著作は多くない。今後が待たれる分野である。

当館では『江戸時代の数学』や『和算入門』など数学の歴史を紹介した入門書から、江戸時代の和算書（『江戸初期和算選書』ほか）まで幅広く閲覧できる。

岡山の和算については、『和算と岡山県』（大森毅）、『備中の和算家と算額』（岸加四郎）等のほか、県内の算額や和算家を紹介した山川芳一の労作『岡山の算額』がある。また、県立博物館へ寄贈された窪田浅五郎・善之の資料を紹介した岡山県立博物館の『研究報告第十二号』には、浅五郎とかかわった岡山の和算家が紹介されている。

新着郷土資料紹介

- 会編 哲西町教育委員会刊 一九九八 九一頁
- 備中吹屋吉岡鉦山事業報告 下巻 西本精治著 西本精治刊 一九九八 五〇三頁
- 瀬戸内・山陰の美術館日帰りの旅 絵画・彫刻・写真 柳生尚志著 山陽新聞社刊 一九九八 一五八頁
- 神社孝一画集 神社孝一作 神社孝子刊 一九九八 一四二頁
- 備前焼ベスト・セレクション 阿部出版刊 一九九八 八八頁
- BOBBO 夢みる二人のためのブライダル情報誌 山陽新聞社刊 一九九八 二〇七頁
- 企業ガイドみまさか 99 若者の定住化推進委員会編 若者の定住化推進委員会刊 一九九八 二二頁
- 中西草蘭画集 原田純彦ほか編 日本写真印刷刊 一九九八 七一頁
- 旭川ビュイポイント写真集 西尾総合印刷編 岡山商工会議所刊 一九九八 二八頁
- 生涯スポーツのすすめ ニュースポーツとその指導者資格 岡山県教育委員会ほか編 岡山県教育委員会刊 一九九八 三八頁
- 哲西の絵馬 哲西町文化財シリーズ9 哲西町文化財保護委員
- 準歌集 道を選ぶ 三木一徳著 後楽印刷刊 一九九八 三二〇頁
- 月の輪古墳 吉備考古ライブラリー1 近藤義郎著 吉備人出版刊 一九九八 一五六頁
- 残月 旧道を訪ねて 三宅宜土著 田中平版印刷刊 一九九八 一一二頁
- 有漢点描 有漢国民学校図絵 蛭田貞夫著 二鶴堂刊 一九九八 一九九頁
- マンガ国吉城物語 南一平漫画川上町生涯学習推進本部刊 一九九八 七五頁
- 阿新人物紀行 岡山空港の利用を促進する阿新地域の会刊 一九九八 十六頁
- ケインズに先駆けた日本人 山田方谷外伝 矢吹邦彦著 明德出版社刊 一九九八 三九三頁
- 素顔であいたい岡山の旅 別冊旅の手帳増刊 弘済出版社刊 一九九八 一四六頁
- 志戸坂峠 歴史の道 安中待史著 太田豊穂刊 一九九八 一二七頁

当館の参考図書 95

日本美術館 小学館 一九九七



的で特殊な用語、独特な言い回しが使われており、理解するのが難しい。そこで、ワインの専門分野で最もよく使われる千五百語を厳選し、世界共通の基準を作ろうと編んだのが、この辞典である。日本語、フランス語、英語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語の六か国語版が一冊にまとめられている。

一つの日本語の見出しに対する五か国の相当語を一度に見られることが特徴的である。

日本初めて話題事典(富田仁編 著 ぎょうせい 一九九八)

本書は、私たちの生活に密着した様々なものを取り上げ、「初めて」「始まり」にまつわるエピソードを、一ページに一項目ずつ紹介したものである。

記された項目の一部を紹介すると、お年玉付年賀八ガキ、レトルト食品、百円ライター、シャープペンシル、コンビニ、缶コーヒー、天気予報、のど自慢、パッケージ旅行、歩行者天国など多岐にわたり、形あるものはもちろん、無形の文化財や文物制度をも取り上げている。

巻末には索引も掲載してある。

随想

「友情は、喜びを二倍にし、悲しみを半分にする」という言葉通り、確かに人生にとって友達は大切であり、共に喜び合い、悲しみを分かち合える友達は、有り難いものである。

小学校、中学校、高等学校等には、それぞれの同窓会があり、同級生がいる。その中でも同期生となる、それぞれが喜びや悲しみを共に過ごした体験を持ち、年齢に応じた思い出を共有して懐かし

い。近年、私が最も多く行動を共にして、楽しませてもらっているのは、高校時代の同期生である。岡山県立和気閑谷高等学校（当時和気高等学校で本荘校舎と閑谷校舎があった）を昭和二十九年三月に卒業した私達の同期会を「二九和会」の愛称で呼んでいる。私達は、日本最古の庶民の学校として設立された閑谷学校の三百年の伝統を受け継ぐわが母校を誇りに思い、友情を暖め、助け合い

ながら、いろいろな活動に積極的に取り組んでいる。

それぞれが忙しく活躍していた若い時代にも、二九和会の集いには万難を排して駆けつけ、お互いの近況を語り、励まし、助け合ってきた。

大学時代の友達は殆どが同じ教育の道を歩んでいるが、二九和会は、一人一人活躍する分野も環境も異なる友達ばかりであり、彼等の言葉は、私にとっていつも新鮮な響きをもって伝わってきた。そ



「人生を豊かに」

森崎 岩之助

して、それは、親しみと安らぎを覚えながら、教えられることが多い、私の視野を大きく広げてくれる良い機会でもあった。

二九和会には、定例会として、全体の同窓会、関西支部、関東支部の総会、ゴルフ大会等がある。

他に、必要に応じて集まる有志の会が度々開かれ、この有志の会の活動に二九和会の特色があると思っている。夏休みを利用してゴルフ仲間が、北海道や軽井沢等への有名コース巡りを計画すれば、

ゴルフをしない人達も、観光目的で同行し、一層賑やかな旅になる。

また、私達が高校で学んだ時代の先生方の親睦会が今も続いている、当時の教え子である私達に誘いがあれば、大挙して押しかけ、昔話に花を咲かせて、先生方にも喜んでいただいている。

先日は、某新聞の特別企画による「わが母校」欄への取材に応じた急な集いにも、大勢参加して思い出を語り、「母校への熱い思い今も」の大見出しで紹介された。

私達も既に還暦を過ぎ、長年苦勞をかけた妻に、何かで報いたいと、ひそかに思っている者も多い。さりとて二人で何をすべきか名案もない。そういう仲間が集まって、いつそ夫婦一緒に小旅行をしてはと意見が一致して、郷土の文化遺産や史跡の探訪をゆつくり楽しむ会も始めている。

いままで、共に歩んできた二九和会の縁を大切にしながら、お互いに楽しめる年相応の活動を重ねて、これからの人生を何倍も豊かにする友情を、更に大きく育てていきたいと思っている。

（生涯学習センター所長）

友の会だより

美術鑑賞旅行

参加者の募集について

今年の企画第一弾は、美術鑑賞旅行です。行先は、「逆さ大山」で有名な植田正治写真美術館、紙すき体験のできる安部榮四郎記念館、武蔵坊弁慶の修業の地として有名な鰐淵寺等です。出雲地方の文化・歴史・自然を満喫していただけたらと思います。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。



- 一、日時 平成十年十月一日(木)～二日(金)
- 二、行先 鳥取県 植田正治写真美術館 鳥根県 和鋼博物館 鰐淵寺 等

なお、詳細は別紙募集案内のとおり。

- 三、募集人員 四十名程度
 - 四、参加費 二万九〇〇〇円
 - 五、申込期限 八月二十八日(金)まで
 - 六、申込方法 電話でご本人が(会員番号・氏名等)お申し込みください。
- 友の会事務局
☎〇八六 二二四 一一八六

平成10年

9月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー

期 日	催 物	入 場 料	主 催 者	展 示 室
9/2～9/7(期) 9/8～9/13 (期)	岡山県美術展覧会 (書道部門)	一般 700円 学生 300円 老人・会員 無料	(株)山陽新聞社	第1展示室 ・ 第2展示室
9/15～9/20	ライオンズクラブ美術展	無 料	市内ライオンズクラブ	第1展示室
	白 青 会 展	無 料	白 青 会	第1展示室
	チャールズ会岡山秋期展	無 料	チャールズ会岡山	第2展示室
9/22～9/27	竜 墨 書 道 会 展	無 料	竜 墨 書 道 会	第2展示室
	第23回 岡山県教職員美術展 (9/27:表彰式)	無 料	(財)岡山県教育職員互助組合	第1展示室 第2展示室
9/30～10/11	「現代作家の眼」 《アートウェーブ岡山・ 彫刻選抜》中央展	無 料	岡山県総合文化センター 「現代作家の眼」展 実行委員会	第1展示室
9/29～10/4	'98岡山県本部展・第54回朝日写真展	無 料	全日本写真連盟岡山県本部	第2展示室
	第19回 南画清風会 選抜展	無 料	南 画 清 風 会	第2展示室

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です

ホール(固定席282席)

日(曜)	催 物	時 間	入 場 料	主 催 者
9/1(火)	集会室(ホール)抽選会	9:00～12:00		岡山県総合文化センター総務課
9/5(土)	口 ッ ク 演 奏 会	13:00～16:30	無 料	ロックンロールミュージック
9/12(土) 9/13(日)	演 劇 公 演 (School Aid)	18:30～20:00 14:00～15:30	600円	劇 団 な な ひ か り
9/15(火)	ギター発表会(賛助出演:フラメンコダンス)	13:00～15:00	無 料	吉 岡 ギ タ ー 教 室
9/19(土) 9/20(日)	第294回 文化センター土曜劇場 劇団ひびき公演: 「きゅうりの花」	18:30～20:30 14:00～16:00	前 1,500円 当 1,800円 会員無料	岡山県総合文化センター
9/23(水)	平成10年度 寿 大 会	10:00～16:30	無 料	岡山県吟剣詩舞道総連盟
9/27(日)	第42回国鉄演劇祭 (「それでも、拝啓内閣総理大臣様」他)	13:00～16:00	1000円	岡山職場演劇集団

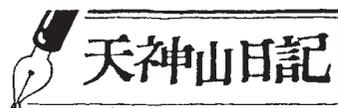
会員...文化センター友の会及び文化振興会会員

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。



まら が の た 子 い し た り に 取 っ
し れ 見 姿 ち 供 る て り
た。 いた の 言 葉 を 早 速 に 使 っ たり、中 国 の 絵 本 を 手

「世界お話の旅」中国編を七月二十五日に開催しました。講師にキク・ギョウカさんを迎え、中国語を交えた民話の読み聞かせや、中国についてのお話をしていただきました。質問コーナーでは、「中国の学校では道徳の時間がありますか。」「中国の親たちは、どんな本を子供たちに与えてあげますか。」などの質問が積極的に出されました。講座が終ってから、二ハオ!サイチェン!シエシエ!など習いたての言葉を早速に使ったり、中国の絵本を手



この資料は、郷土資料室で閲覧できます。
「世界お話の旅」中国編を七月二十五日に開催しました。講師にキク・ギョウカさんを迎え、中国語を交えた民話の読み聞かせや、中国についてのお話をしていただきました。質問コーナーでは、「中国の学校では道徳の時間がありますか。」「中国の親たちは、どんな本を子供たちに与えてあげますか。」などの質問が積極的に出されました。講座が終ってから、二ハオ!サイチェン!シエシエ!など習いたての言葉を早速に使ったり、中国の絵本を手

